

## 厚生労働省委託事業「がん対策推進企業アクション」の 『がん対策推進パートナー賞』をポーラ・オルビスグループ健康保険組合が受賞



3月1日（金）に行われた表彰式の様子

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合（本社：東京都品川区 理事長：小川浩二）は、厚生労働省の委託事業「がん対策推進企業アクション」が主催する、令和5年度がん対策推進企業表彰において「がん対策推進パートナー賞」（検診部門）を受賞しました。

「がん対策推進企業アクション」は、職域でのがん検診受診率 60%以上への引き上げと、がんになっても働き続けられる社会の構築を目指す国家プロジェクトです。がん対策推進企業表彰では、がん対策に積極的に取り組んだ企業・団体が毎年選出されます。令和5年度は約 5,000 の推進パートナーから「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」1社と、「がん対策推進パートナー賞」4社（検診部門・治療と仕事の両立部門・情報提供部門・中小企業部門）の合計5社が選出され、そのうちの検診部門でポーラ・オルビスグループ健康保険組合が表彰されました。

### ポーラ・オルビスグループ健康保険組合の受賞理由

がん検診受診率の高さに加え、当社グループの被保険者のうち約7割を占める女性への健康対策の一環として、働き盛りの女性が検診を受けやすい環境づくりや検診の選択肢の拡充、リテラシー向上等への取り組みを、企業と健康保険組合が連携して進めている点が高く評価されました。特に評価されたのは以下の4点です。

- 1) ネットワーク健診サービスを導入し、全国医療機関で定期健診と同時にがん検診を受診できるとともに、婦人科は専門機関で受診したいとのニーズにも応え、首都圏の婦人科検診においては優良な外来機関と提携。また結果をグループ健康管理センターにて一元管理し、有所見者に対し受診勧奨・保健指導を実施している。
- 2) 月経随伴症状や更年期症状対策として、婦人科のオンライン診療を導入。受診が容易なオンライン診療からリアル診療に切り替わる流れも見られ、がん発見のための診察に繋がるのが期待される。
- 3) 検診や女性の健康支援策を通じて、「婦人科がん検診は受診すべきもの」という風土ができています。
- 4) 被扶養者や退職任意継続者にも、従業員と同一のがん検診を同様の補助で実施。

今後も、企業と健康保険組合が連携したコラボヘルス※1を通じ、当社グループの持続的な成長を支える基盤である健康経営活動に取り組むとともに、女性の活躍を積極的に支援しながらダイバーシティ&インクルージョンを推進してまいります。

※1 コラボヘルスとは、企業と健康保険組合が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、被保険者の予防を含めた健康づくりを効率的・効果的に実行すること

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室  
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail [webmaster@po-holdings.co.jp](mailto:webmaster@po-holdings.co.jp)

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。